

2023年10月20日  
日本郵便株式会社

## 新聞広告が第43回新聞広告賞「広告主部門優秀賞」を受賞

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 千田 哲也）は、2022年度に実施した手紙に関する新聞広告について、第43回新聞広告賞広告主部門優秀賞を受賞しました。

新聞広告では、「いつもの言葉が、プレゼントになる。」をキャッチコピーに、さまざまな想いや気持ちを豊かに伝えられる、「贈り物」としての手紙の素晴らしさを伝えました。

受賞作品については、次ページ以降をご覧ください。

また、新聞広告賞についてはこちらをご覧ください。<https://www.pressnet.or.jp/adarc/pri/2023.html>

<受賞作品>

【母の日企画】2022年5月8日/読売新聞/全国版/朝刊

<日本郵便×読売新聞 母の日企画>

かあさんへ

こうして手紙を書くのは、20年振りに例えます。  
上京する時に手紙を書きました。  
手紙には、今も心配と迷惑ばかりかかっていますから、  
二からは、心配と迷惑をかけたまま生きていくと、  
書きました。でも実際は、上京してからも心配  
ばかりかかて、本当に申し訳ないかと思ってるよ。  
「母の日には、姉ちゃん、弟からは、花が贈  
られてくるけど、お姉ちゃんからは贈られてない  
何も贈らなくていいんだよ。電話一本  
でいいんだよ。」と言ってくれたのに、  
その電話もする事ができなかった。  
今、やっと50歳で何とか成人として、お仕事を  
頂けるように例、少しは恩返しできるよう  
になたと思っています。でも、お母さんに少しは、  
二からたくさん親孝行にいきますので  
どうか長生きしてください。  
20年振りにお互い笑って話せた気がするよ。  
たくさんありがとう 感謝しています。

錦鯉長谷川雅紀

言葉にできないものも、ちゃんと書いてある。

いつもの言葉が、プレゼントになる。5月8日は母の日。

母の日特設サイト



進化するぬくもり。

JP 郵便局  
POST



< 日本郵便 × 読売新聞 第2回 夏のお手紙企画 >

この夏にすべてをかける君へ  
 暑い日が続きますが、体調などは崩していないでしょうか。  
 体格も投げ打ちも似ている。そして夢が叶うことにも信じていない君と  
 出会った時から、僕はずっと16年前の自分を重ねていました。  
 その夢は、きっと叶うよ。とは、僕は言いません。  
 勝負はわからないから。おなじ夢を持つ人下りのぶっかっあいたから。  
 だが、命も手ごたえも君のまじ。とうか夏のマウンドに立ち続けてください。  
 この日から先、グラウンドでもグラウンド以外でも、君をいろんな形でサポートさせていただきます。  
 僕の様に不安だらけの時期を過ごし、挫折を味わうことあるかも知れませんが、  
 それよりもか前と同じくために必要なもの。それは記憶。たとえ思い出す。  
 過去の栄光。た。なんでも覚えていることあるけれど。  
 最後まで関わった記憶は、未来を生きていくための力になります。  
 下した、大舞台がすぐそこたうと時に、先の話なんてさしたくないか。  
 この夏、いちばん速い球を投げるのは君じゃない。  
 いちばん熱い球を投げるのが、いちばん強い球を投げるのが、  
 なんでもいちばん速い球を投げるのが、君であってほしいと思います。  
 月から君の過ごす夏が、君を一生奮い立たせる夏になりますように。  
 よし、頑張れ。

2022 夏 斎藤佑樹 (E)

手紙の方が、あなたが見える。



一枚じゃなくて、一人なんだ。今年の夏は、手紙を贈りませんか。

夏のお手紙特設サイト



進化するぬくもり。





< 日本郵便 × 読売新聞 第3弾 成人の日企画 >

20歳になった私からお母さんへ

お母さん、20歳になりました。

私は今、社会の深みの中に溺れかけになりながら必死に生きています。

「大人」になった風うらみは、言葉では伝えないお母さんへの感謝の気持ちです。中学2年の時に書いたあの言葉は、今も私を守ってくれています。

「普通」の男子運とは好む感覚を違えて、自分の性別がわかれば周囲から与えられた存在を承知、お母さんに呼ばれて話して話したあの日。性別の偏見を打ち明けられた時、私も思っていたような安堵感、この世に愛の感情を大泣きしてはいけなかった。怖くも、お母さんのあの優しい目を私は忘れません。そして「漢は漢の道でいいからね」と言ってくれたお母さん。あの言葉はそれから日以來、私は怖いことがなくなりました。

「普通」の男子運はどんなに辛抱したとしても、お母さんのせいなんだよ。この言葉は時もあるけど、全くそんなことはないよ。

女子家庭の働き。お母さん、学校の行事も来てくれたんだけど、頼むよ。お母さん、お母さん、学校の行事も来てくれたんだけど、頼むよ。お母さん、お母さん、学校の行事も来てくれたんだけど、頼むよ。

「笑顔が1番だ」と、手作りの賞状をくれた。

私は世界一幸せな男子です。

「心配はしないでいいけど、私は大丈夫だよ。」

お母さんがくれた強さの備えで戦っていきます。

大人になると、またいろんな壁にぶつかるけれど、「漢は漢の道」あの道で頑張っていきます。

私も産んでくれて、20年間育ててくれてありがとう。大好き。

井上 漢

決められた大人にならないことも、成人だと思え。



— 成人の日特設サイト

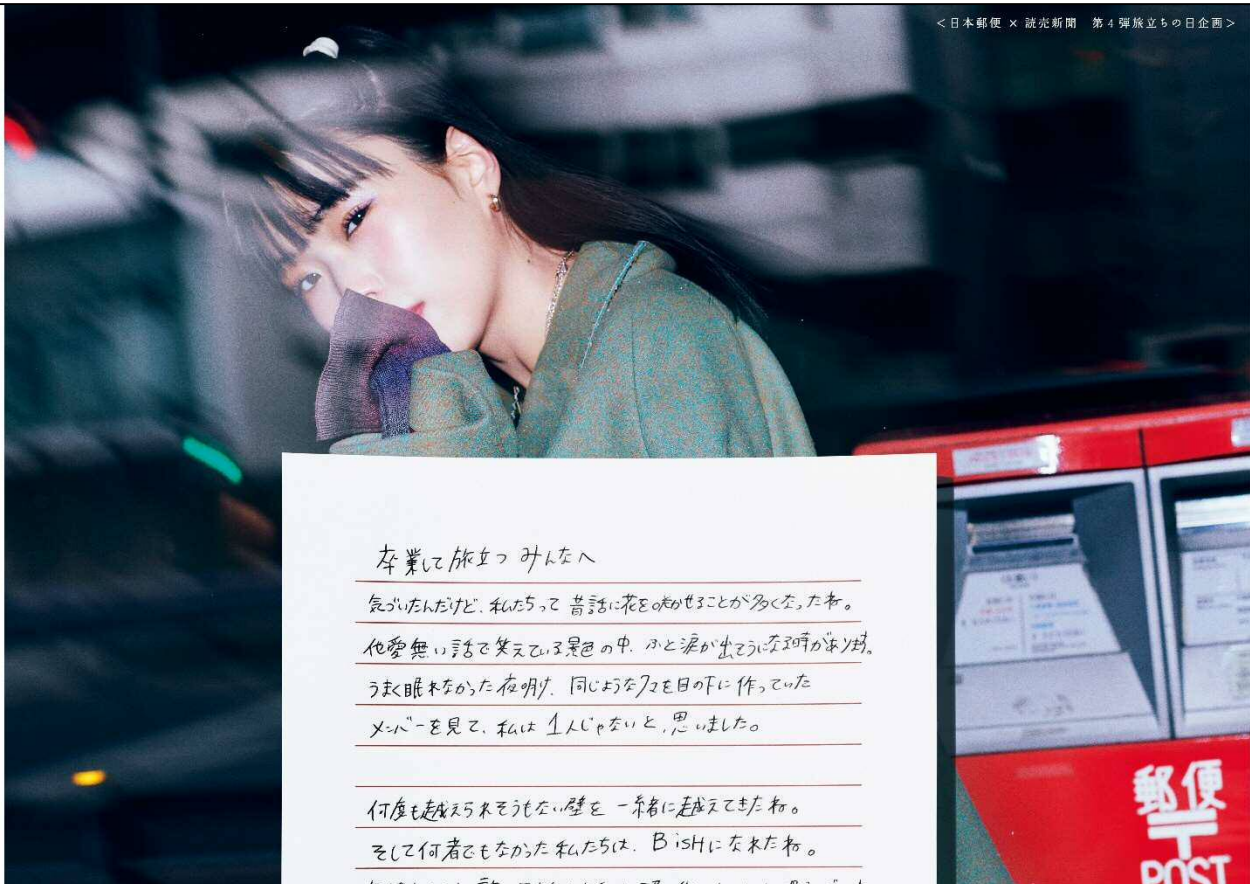
成人の誓いを手紙で贈りませんか。

進化するぬくもり。

郵便局 POST







卒業に旅立つみんなへ

気がたんだけど、私たちが昔話に花を散らすことが多かったわ。  
他愛無い話で笑えてる景色の中、小と涙が出た瞬間があの時。  
うさ眠れなかつた夜明け、同じよな夕日を目の下に作っていた  
メンバーを見て、私は一人じゃない、と思いました。

何度も越えられそうもない壁を、一人で乗り越えたわ。  
そして何者でもなれた私たちは、BISHIになれたわ。  
長持ちをうまく譲ってできた私は、涙も傷つては、ないわ。  
こんな私に居場所をくれて、本当にありがとう。  
みんなと歌って踊って、ぐちゃぐちゃに暴れた時間は  
宝物の記念日です。

出会う前より、もっと強くなった。誰が何だろうと、私達は強くなった。  
今なら一人一人がどこへだって飛び込んでゆけるはず。  
大好きなあなたが強く羽ばたきますように。大妹。大妹。

その手と手繋いで、笑い合った声、忘れはしないよ  
こんなにも流した涙も、語る声も、オケストラ  
BISHI アイ.ジ.エド

卒業は、  
一人じゃないことを  
教えてくれる。



旅立つ仲間へ、手紙を贈りませんか。  
・旅立ちの日特設サイト

進化するぬくもり。

